



19時からパパも子育て

子育てしやすいように職場環境を整えることは、従業員のやる気創出や業務の効率アップが期待できます。こうした取組の積み重ねが少子化克服への一歩です。子どもは社会の宝。仕事と子育てを両立しやすい環境づくりに会社全体で取り組んでいる企業へおじゃましてきました。



株式会社かんきょう（秋田市）

業種：卸売・小売業 従業員数：115名
<http://www.kankyonet.co.jp>

福祉用具のレンタル・販売を中心に、住宅リフォーム、居宅介護支援、福祉業務支援ソフトウェア等の販売等を行っています。秋田市の本社ほか秋田県内に5店舗、東北各県に5店舗で事業展開しています。

創意と工夫で仕事を効率化 企業発展の秘密はここにある

かんきょうは、現在秋田県内外に計10店舗を構えています。拠点が少ない頃は、営業担当者が秋田市から遠方まで毎日車で通い、移動に多くの時間が費やされていたとのこと。従業員のゆとりを生み出し、地域に密着したサービスをお客様に提供するため、店舗を各地域に拡げていきました。

他にも外回りの営業部と内勤の商品管理部との連携を強化すること。毎月第3水曜日はノー残業で電気を節約する「エコデー」にすること。かつては本社で開催していた会議も段階的に各店での開催や、テレビ会議に切り替えることなど、企業の成長とともに、創意と工夫を持って所定外労働を減らす意識改革をすすめています。



●従業員から
(経営管理部 福原課長)

仕事も、家庭も、楽しく向き合う！

コンピューターのシステムサポートを手がける福原課長のお子さんは、現在4歳です。「子どもが生まれた頃、仕事と家庭の両方で完璧を目指しても思い通りにはならないことがわかりました。頑張りすぎるのをやめたら気持ちが楽に。今は職場でも、家庭でも互いに協力しながら子育てを楽しんでいます」。

福原課長の家庭では、旦那さんと互いの仕事の状況に応じて保育園のお迎えや晩御飯づくりを柔軟に分担しているとのこと。そして職場の後輩たちとは、ポータルの掲示板を活用して「誰がどう対応しているか」など、職場を離れていてもやりとりができるようにしているそうです。管理職である課長自らが仕事と家庭の両立に取り組んでいることで、これからの子育て世代の従業員へのよいお手本となっています。



● 職場から
(徳原取締役相談役)

「みんなが経営者」の意識を大切に

当社はこの10年で大幅に社員が増え、県内に5か所、県外に5か所の拠点を持つまでに事業の規模も広がってきました。この流れに伴い、より一層企業の一体感を強くするための取組を進めてきました。

企業経営の発展に欠かせないのは、従業員の成長です。「みんなが経営者」の意識を持つことで、課題解決能力が身についてきたと感じます。所定外労働の削減にとどまらず、仕事の効率化など、さまざまな面で効果が現れてきました。また当社では、より働きやすい職場を目指し、誰でも思いついた時に提出できる「良くする・良くなる提案書」や、仕事上での成功例や失敗例なども共有し、そこから学んで次に活かすという取組なども実施しています。



効果が見られた点

- ◎仕事の効率化で、従業員の能力と企業がともに成長する。
- ◎密なコミュニケーションと情報のシェアが成果につながる。